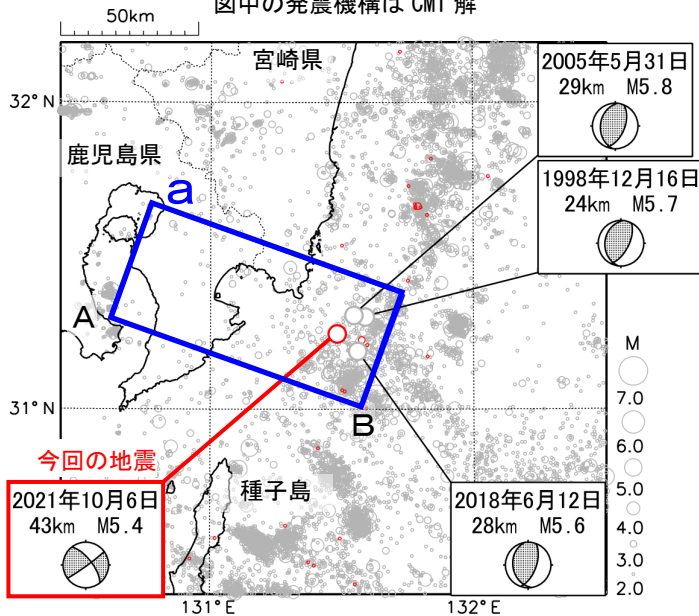
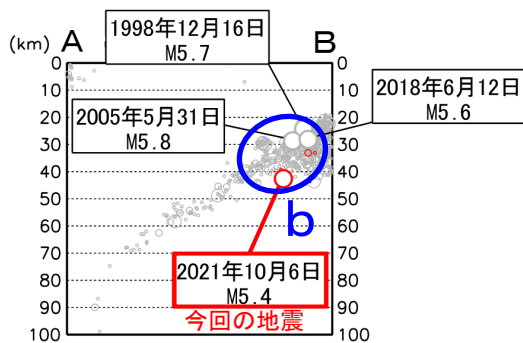


10月6日 大隅半島東方沖の地震

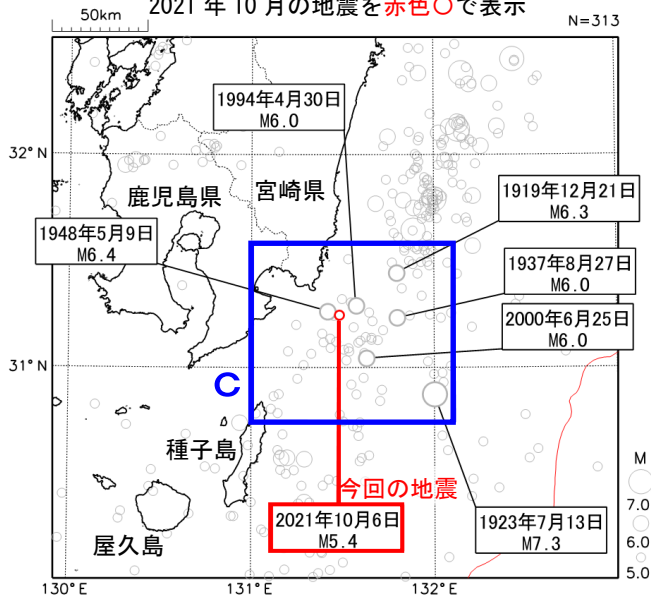
震央分布図
 (1997年10月1日～2021年10月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
 2021年10月の地震を赤色○で表示
 図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
 (1919年1月1日～2021年10月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
 2021年10月の地震を赤色○で表示



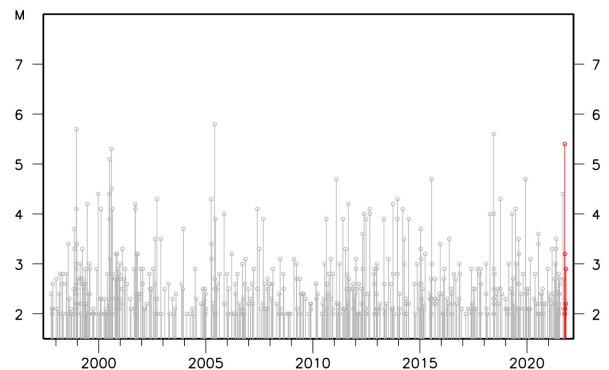
赤線は海溝軸を示す。

2021年10月6日17時12分に大隅半島東方沖の深さ43kmで $M 5.4$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では $M 5.0$ 以上の地震が5回発生している。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では $M 6.0$ 以上の地震が6回発生している。1923年7月13日には、 $M 7.3$ の地震により鹿児島県の中種子村(当時、現在の中種子町)で住家小破27棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

